



Q：最近、若い某テレビ局アナウンサーが脳梗塞になったという報道があり、自分も心配です（30代・女性）

A：脳梗塞は高齢者に多い病気ですが、若くして起こす人もいるので注意が必要です。

多くは喫煙や、高血圧・高脂血症・糖尿病などの生活習慣病から起こる動脈硬化や、心房細動などの心臓病が原因で発生した血栓・塞栓が脳の動脈に詰まり、脳に酸素や栄養が行かなくなり、脳組織が壊死して起こります。ただ若年者の場合は、もやもや病や血管炎、凝固異常などの特殊な病気が原因の場合があります。

死亡率の高い病気です。幸い

に一命を取り留めても、さまざまな障害を起こすことが問題です。脳の壊死の部位と程度によりますが、運動、記憶、言語、視覚などに障害が残る場合があります。よくみられるのが半身まひや言語障害です。前兆に、片側の手足がしびれる・急に手の力が抜けて持っているものを落とす・文字が思うように書けない・目



まいがして真っすぐに歩けない・ろれつが回らなくなる・物が二重に見える・急に物忘れがひどくなる、などがあり、その際は注意が必要です。

（岡田俊一・おかだ内科クリニック院長、甲府市北口2-9-12、ニッコー北口駅前ビル2F）

TEL0555・2888・1801